

市民公益事業支援（ステップ）部門採択事業報告



事業名	「北名古屋みやげ本」制作プロジェクト
実施団体名	NPO法人フィール・ザ・ワールド
事業の目的	市民や企業に向けて、市内で製造・販売している手土産に最適な商品の情報を集めた「北名古屋のみやげ本」を作る。今すでにある商品の魅力を発見し、冊子にすることで情報を整理・統合し、観光振興のタネを作る。
補助金額	300,000 円
事業の概略	市民が、市民のために、市民目線で選んだ、市内にある店舗の提供する逸品を紹介する「手みやげ手帖」を制作し、市内の全幼稚園児および全保育園児を持つ家庭に配布した。
事業の 効果・成果	①店舗が新規顧客獲得などのきっかけづくりになった ②当団体と協力団体とのつながりを作ることができた ③情報がまとまっていることで、必要な情報が必要な時にすぐ手にとれるメリットができた ④北名古屋ブランドとして市内外に発信できる「北名古屋の銘菓・名品」の情報をまとめることで市民が北名古屋の魅力を再認識することができた。 ⑤冊子内で、逸品を紹介していただいた市民の方々とのかかわりを持つことができた。 ⑥地域の発展を一緒に考えてくれる仲間が増えた。
実施しての 問題点	1. 人件費の増加： 冊子内の情報は、それぞれの市民が持ち寄ったパッチワーク形式で作成していく予定だったが、制作を進めていくうちに、文章のリズムや読みやすさなどが求められ始めた。記事を書くライター、写真を美しく魅力的に撮る力

市民公益事業支援（ステップ）部門採択事業報告

	メラマン、紙面を魅力的に見せるためのコーディネーター、最終確認をするエディターなど、プロの手をお借りすることになったため、そういった経費が当初予定していた以上に発生した。また、広告宣伝のデータの作成やパソコンでのやり取りにも非常に労力を要した。 2. スケジュール調整の難しさ 当団体の年間事業の中に組み込んで実施していく中で、年末から年始にかけての時期に本事業の折衝や制作作業等が重なってしまった。店舗との折衝や調整についても、この時期は一年の内の多忙期にあたるため、余裕を持った活動にならなかった。 他団体との共同作業についても、多くの人がかかわることで、打ち合わせなど時間や意見の調整、イメージの共有などに時間がかかった。
課題・今後の展望	課題は以上に述べたとおり。 この事業は、ママライフデザイン研究所の平成 29 年度の事業に引き継がれる予定。
審査員評価	北名古屋の魅力を発信しているところ。写真がきれい。アンバサダーの養成。昭和をキーワードに昭和グルメ。こういう冊子が欲しかったと感じる人も多いのではないか。推薦人として市民の顔が出ることもまじめさがあって良い。
アドバイス・期待する点	新しい商品開発につながるかも。お菓子博のような手みやげ博。簡便にできるような方法を探す（フェイスブックで紹介のような）今後も魅力発信に貢献してほしい。どんどん良くなっているが、全てを網羅しているわけではない。まだ紹介しきれない店があると思う。第二弾とならないまでも、さらに発掘するためにしかけをする余地がある。